

# 産業情報いわて

VOL. 136

月刊 2013年11月号



【支援企業紹介】

株式  
会社

# アイカムス・ラボ

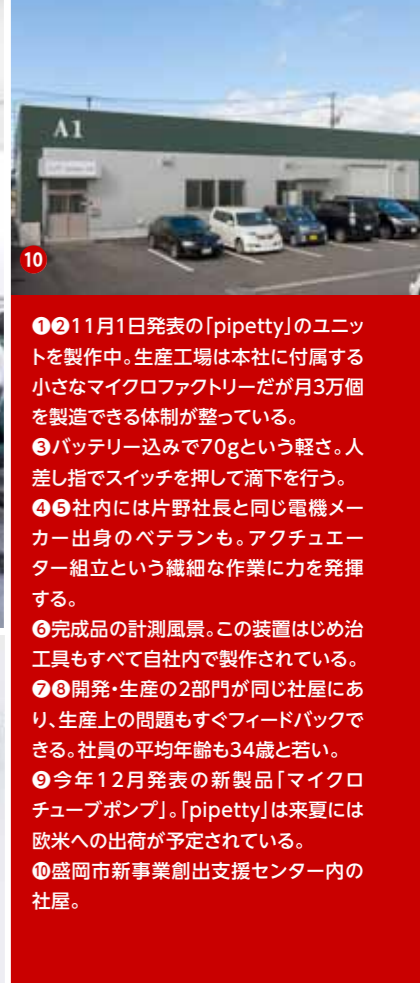
## 岩手パワーを (P2) 結集したものづくりで世界へ



第18回いわて希望ファンド (P4)  
第15回いわて農商工連携ファンド  
公募内容

大連展示商談会 (P7)  
チャレンジ・ショップ (P8)  
最低賃金広報 (P8)

いわて中小企業支援プラットフォーム (P6)



# 岩手パワーを 結集したものづくりで世界へ

岩手大学発のベンチャー企業である株式会社アイカムス・ラボ。プラスチック製マイクロ歯車とマイクロアクチュエーターという同社の有する世界技術は、光学機器はじめ幅広い産業分野で使われているが、起業から10年目の今年、片野圭二社長は新たな戦略を打ち出した。それは地域産業の可能性を切り開く、新たな一歩でもある。

## 岩大発のベンチャー企業として 極小プラスチック歯車を開発

「地域でもものづくりをするという理念は変えることなく、これからはより付加価値が高く、かつ社会の必要性が高い産業分野へ力を注いでいきたいと思っています」。

岩手大学発のベンチャー企業としてスタートし、今年の5月で創業10年を迎えた株式会社アイカムス・ラボ。代表取締役の片野圭二さんは穏やかに、しかし力強く、向かうべき次のステージを見据えながら語る。

同社の誕生は平成15年。勤めていた大手電機メーカーの盛岡工場閉鎖をきっかけに独立を決意した片野さんが、経済産業省「地域新生コンソーシアム研究開発事業」に

応募して採択されたことに始まる。事業テーマはプラスチック製マイクロ歯車減速機の研究開発。金属では切削加工が困難とされてきた直径4mm以下という極小歯車減速機を、岩手大学の持つ精密金型・トライボロジー技術を活用し、世界に先駆けて実現したのである。その3年後にはマイクロアクチュエーター(小型減速機)の量産化にも成功。今や一眼レフカメラなどの光学機器から各種計測器、産業機械などの繊細な調整機構が必要とされる分野への浸透がめざましい。

評価の観点、大きさのみならず高寿命や高精度などパフォーマンスのよさにも及ぶ。それはメーカーで培った片野社長の開発力と岩手大の技術という出会いによって実現した、まさに産学連携の賜物なのだ。

## 初の自社製品は電動ペン型ピペット 地域産業の可能性は医療分野に

そして今年11月1日、同社は初の自社商品となる電動ピペット「pipetty」を発表した。8mmのマイクロアクチュエーターを搭載した本製品は、従来製品のおよそ3分の2という世界最小・最軽量タイプ。しかもスイッチの位置を変え、世界初となるペンの持ち方で正確な液体の吸排出を可能にしている。

「従来の手動ピペットは重くて作業性が悪く医療従事者の腱鞘炎が問題になるほどでしたので、『今までにない軽さと持ちやすさ』は大好評。すでに予約もいただいています」。片野社長が確かな手応えを語るのには、以前から部品提供で参入していたマイクロピペット機器での実績があるからだ。そこには業界の「匂」を読む事業センスも存在する。「日本では今、医療やバイオ、理化学機器などライフサイエンスが

重要になっている。当社も培ってきたメカトロニクスを使い、高度医療へ貢献していきたいのです」。大きな転換となったiPS細胞の発見、その研究機関である京都大学からの依頼で同社が開発したマイクロポンプの発売も、実は今年12月に控えている。ソフトチェンジのタイミングは、今だ。

INS活動をはじめ岩手県は産学官連携の事例が多く、また金型関連企業の立地の多さから技術力への評価もきわめて高い。当センターもこれら優秀な人材と技術を支えるさまざまな事業を展開しており、片野社長はそこに、地域の展望と可能性を重ねている。

「医療機器はすごく多種多様で、ひとつひとつのマーケットは小さくとも独自性を保てる。だから地域でのものづくりが出来るんです。医療の高度化が進む中、新たな地域産業になりうる可能性は十分ある」。

人の命を守る産業が、地域産業復興の牽引役に。新たな未来図は描かれはじめた。

- ① 11月1日発表の「pipetty」のユニットを製作中。生産工場は本社に付属する小さなマイクロファクトリーだが月3万個を製造できる体制が整っている。
- ② バッテリー込みで70gという軽さ。人差し指でスイッチを押して滴下を行う。
- ③ 社内には片野社長と同じ電機メーカー出身のベテランも。アクチュエーター組立という繊細な作業に力を発揮する。
- ④ 完成品の計測風景。この装置ははじめ治具もすべて自社内で製作されている。
- ⑤ 開発・生産の2部門が同じ社屋にあり、生産上の問題もすぐフィードバックできる。社員の平均年齢も34歳と若い。
- ⑥ 今年12月発表の新製品「マイクロチューブポンプ」。「pipetty」は来夏には欧米への出荷が予定されている。
- ⑦ 盛岡市新事業創出支援センター内の社屋。

我が社の  
力こぶ  
はコレ!

自社商品「pipetty」は  
岩手の技術の結晶!

「pipetty」の開発には県の医療機器事業化研究会のネットワークを活用。金型から製品製作まで9割近くが地場企業の技術だけで出来ており、販売も県内企業が行います。今年10月には当社初の東京営業所を設置、マーケティングも始めています。



代表取締役  
片野圭二

会社名 株式会社アイカムス・ラボ  
 本社 盛岡市北飯岡一丁目8番25号  
 (盛岡市新事業創出支援センターA1棟)  
 電話 019-601-8228  
 代表者 片野 圭二  
 創業 平成15年(2003)5月  
 従業員 23名  
 業種 動力伝導装置の開発・製造・販売  
 URL http://www.icomes.co.jp/  
 産業情報いわて 3

発信!!  
いわての  
力こぶ

【支援企業紹介】盛岡市  
株式会社アイカムス・ラボ



# 第18回 いわて希望ファンド

# 第15回 いわて農商工連携ファンド

## 公募中です 11/25(月)まで

希望ファンド  
小規模事業者枠は  
11/18(月)まで

### いわて希望ファンド 地域活性化支援事業

県内中小企業等の革新的・個性的な取り組みにより、地域経済の活性化を図るため、創業、経営革新、中心市街地活性化に向けた取り組みなどについて、助成金交付による総合的な支援を行います。

### 起業・新事業活動支援事業

創業・起業や経営の革新に資する中小企業等の以下の取り組みを支援

●市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発または事業化、販路開拓、人材養成等

対象者	●創業者 ●中小企業者	●特定非営利活動法人(NPO法人) ●農事組合法人等	①一般枠 起業または新事業に取り組む事業者	②地域資源活用枠 地域資源を活用する事業	③経営革新枠 経営革新計画の承認を受けた事業	④小規模事業者枠 従業員5名以下の事業所で起業または新事業に取り組む事業者
	助成限度額	300万円	300万円	500万円	150万円	
助成率	1/2	2/3	3/4	3/4		
助成期間	1年間(※継続3年以内(毎年審査))					

### 中心市街地活性化支援事業

中心市街地や商店街活性化に向けての革新的な以下の取り組みを支援

～市場調査・動向調査、新商品・新役務の開発又は企業化、販売促進・販売力強化、業種構成再編・遊休資産活用～

対象者	●中心市街地の活性化に関する法律第15条第1項各号に掲げる者 ●小売・サービス業を営む県内に住所のある中小企業者等 ●商工会、商工会議所、商店街振興組合、事業協同組合 ●知事が適当と認める特定非営利活動法人(NPO法人)
助成率	9/10 (店舗賃借料については、[店舗賃借料/月×月数(助成対象期間×1/3)]の算式によって算出された額の9/10)
助成限度額	250万円
助成期間	1年間(※継続3年以内(毎年審査))

### 支援機関による 支援事業

中小企業者が実施する起業・経営革新等を支援する事業を行う支援機関の取り組み支援

## 第17回いわて希望ファンド地域活性化支援事業採択一覧

第17回いわて希望ファンド地域活性化支援事業について、平成25年9月19日開催された外部委員による審査委員会において、下記の事業が採択されました。

区分	企業・組合名	所在地	事業内容
経営革新計画	株式会社アイカス・ラボ	盛岡市	マイクロアクチュエーターを応用した完成品の開発と事業化
	株式会社環境保全サービス	奥州市	ブラウン管パネルガラス、薄型液晶パネル、プラズマパネル、太陽電池パネル等のリサイクル事業の展開
地域資源活用	有限会社木村商店	山田町	岩手前浜産の「海の資源」と遠野産の低アミロース米「ゆきおとめ」を活用した「高付加価値」の「贈答品」の開発・販売事業
	有限会社中村家	釜石市	「海の幸・里の幸」のコラボ商品開発による釜石ブランド発信
	木楽創研株式会社(継続3年目)	大船渡市	被災地の農業・林業再生に貢献する気仙地域発の「木質資源活用ハウス」の開発と販路拡大
	株式会社八木澤商店(継続2年目)	陸前高田市	味噌や醤油、醤油の旨味を使った加工品やスイーツ類の開発
小規模事業者	有限会社金弁商店	釜石市	前浜資源を活用した新商品開発・改良(イカの丸干し、サンマの塩麹漬)及び自社商品(さんまみりん干し、秋鮭加工品)の販路拡大
	野村海産株式会社	大船渡市	三陸産鮎を活用した新商品開発と販売(日本で一番美味しいと誇れる三陸産鮎を活用して「焼き鮎」と「鮎肝ソース」を商品化する事業)
	マルワ食品	大船渡市	電子レンジ調理する魚商品の開発と販売(三陸の海産物を加工し、レンジで温めるだけで本格的な魚料理が食べられる商品を開発、販売する事業)
	螺鈿澤井工房	盛岡市	螺鈿技法と蒔絵技法を融合した新商品開発・販売(螺鈿技法と蒔絵技法を融合して、アクセサリ・ボックス等を開発する事業)
	有限会社こまち	盛岡市	岩手牛革と浄法寺漆染め等の県内染色技術を活用した革小物の開発及び販売
中心市街地活性化支援事業	フォレストいわて北上	北上市	森林・里山の利活用による間伐材からの薪生産・販売(間伐材を活用した着火用小割薪の商品開発と販路開拓)
	二戸市商工会 盛岡商工会議所(継続2年目)	二戸市 盛岡市	戦国の英雄「九戸政実」歴史まちなか活性化プロジェクト 「もりゼミ」の定着化(事業拡大)とゼミ受講者の固定客化に向けたアプローチ

## いわて農商工連携ファンド 地域活性化支援事業

本県の地域経済の重要な担い手である農林水産業と中小企業者との連携(農商工連携)を強化し、相乗効果を発揮していくことで地域経済の活性化を図るため、中小企業者と農林漁業者の連携体が行う創業や新たな事業展開等への支援を行います。

### 起業・新事業活動支援事業

中小企業者と農林漁業者が連携をして行う下記の事業を支援

- ①新商品等開発支援事業(新商品・新技術・新役務の開発事業)
  - ②販路開拓等支援事業(販路開拓事業)
- ～市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発または事業化、販路開拓、人材養成等～

対象者	●県内の中小企業者と農林漁業者の連携体 ⇒農林漁業者とは、農業、林業、漁業を行うもの及びこれらの組織する団体(農協、森林組合、漁協、連合会も可) ●中小企業者以外で、県内のNPO等と農林漁業者の連携体
助成率	4/5
助成限度額	600万円 (農商工等連携事業計画の認定を受けている場合は助成限度額1,000万円)
助成期間	1年間(※継続3年以内(毎年審査))

### 支援機関による支援事業

農商工連携による起業・新事業活動等を支援する事業を行う支援機関の取り組み支援

#### ●農商工連携の基本的要件

##### 1 有機的連携

中小企業者と農林漁業者が有機的に連携し、それぞれの経営資源を有効に活用すること  
 ◆「有機的連携」とは、通常の事業範囲を超えて両者が連携することを指します。  
 ◆「経営資源を有効に活用」とは、両者の有する設備、技術、個人の有する知識及び技能その他ビジネスノウハウ、知的財産等が、本事業を実施するために具体的、かつ有効に用いられていることを指します。

##### 2 新商品の開発等

事業により、新商品若しくは新役務の開発、生産または需要の開拓が実現すること  
 ◆「新商品若しくは新役務(サービス)」とは、事業実施主体にとって、これまでに開発、生産したことのない新たな商品または役務であることが必要です。

#### ●農商工連携の事例～お菓子の開発～

**中小企業者(菓子メーカー)**  
もち米である古代米、低アミロース米の米粉を使用し試作品の製造、サイズ・パッケージ共に平泉に結びつけるデザインの製作。展示会における市場調査、販路拡大活動を行う

**農林漁業者(農業者)**  
古代米を米粉に加工(品種の選定と製粉条件)、低アミロース米、うるち米といった食感の異なる原材料も検討。事業化された事により古代米に新たな活用・販路が生まれた

**連携**  
それぞれが工夫を凝らした取り組み!

**新商品開発!**  
平泉の「世界文化遺産」登録を目前に商品開発を構想。「平泉」と「古代米」という共通した歴史イメージをもつ素材を組み合わせ考案され事業化に至った。商品名・パッケージデザイン等も同様のイメージから開発された。

## 第14回いわて農商工連携ファンド地域活性化支援事業採択一覧

第14回いわて農商工連携ファンド地域活性化支援事業について、平成25年9月18日開催された外部委員による審査委員会において、下記の事業が採択されました。

区分	企業・組合名	所在地	事業内容
起業・新事業	北日本水産(株) (連携者:熊谷豊治)	大船渡市 (大船渡市)	「漁業者と企業が一体化した計画生産」と「加工・販売機能の整備」による事業連携
	(有)総合農舎山形村 (連携者:有限会社 久慈ファーム)	久慈市 (二戸市)	「岩手県北地域のブランド肉「佐助豚」と「山形村短角牛」のコラボレーションによる新商品開発及び販路開拓」
	(株)遠野アサヒ農園 (連携者:社会福祉法人 カナンの園)	遠野市 (一戸町)	「パドロン」と「フルーツミニトマト」の加工品の開発と周年ビジネスの構築
	(株)千秋堂 (連携者:有限会社ファーム菅久)	盛岡市 (雫石町)	「雫石町産米粉を主要原料とし、雫石町産の乾燥及びパウダー化した食材を組み合わせたオール雫石町産「米粉スイーツシリーズ」の研究開発」
(株)浅沼醤油店 (連携者:三浦青果)	盛岡市 (岩手町)	岩手町の野菜をぎゅ〜っと閉じ込めた「北緯40度の野菜ソース」(仮名)の商品開発(継続2年目)	

### ●手続きの流れ

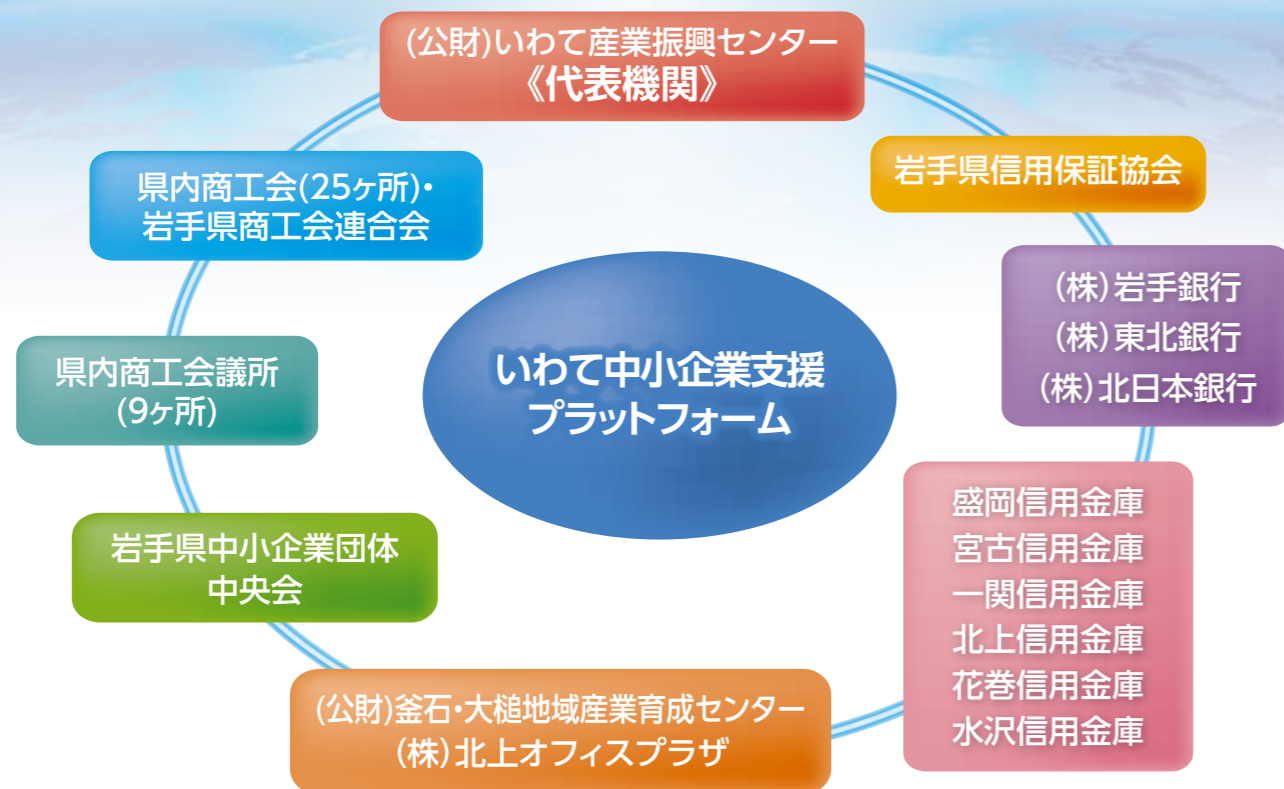


お問い合わせ  
お申し込みは **産業支援グループ**

(いわて希望ファンド担当/福島 いわて農商工連携ファンド担当/伊藤利光)  
TEL019-631-3824 FAX019-631-3830 メール joho@joho-iwate.or.jp

# 中小企業・小規模事業者を地域で支えるネットワーク 「いわて中小企業支援プラットフォーム」が発足しました

中小企業・小規模事業者に対する支援ネットワークのさらなる充実を目指して、いわて産業振興センターが代表機関となり、岩手県の中小企業支援機関49機関による連携体「いわて中小企業支援プラットフォーム」を結成しました。



いわて中小企業支援プラットフォームでは、「中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業」の専門家派遣の窓口機能を担うほか、次のような取り組みを行い、支援体制の強化に努めます。

- 1 国などの中小企業支援施策情報の発信
- 2 創業セミナー、経営革新セミナー等の開催 (各構成機関独自の取り組みを含む)
- 3 ビジネスマッチングイベントの開催 (各構成機関独自の取り組みを含む)

7月30日に開設された中小企業庁の支援ポータルサイト「ミラサポ」の専門家派遣システムをご利用いただければ、1企業3回まで、無料で専門家の派遣を受け、さまざまな経営課題の解決に取り組むことができます。

詳しくは、最寄りのプラットフォーム構成機関へお問い合わせください。

お問い合わせ ミラサポHP <http://www.mirasapo.jp/>

ミラサポ  検索

# 大連展示商談会が 中国大連市で開催されました

【主催】岩手県、(公財)いわて産業振興センター  
 【共催】日本貿易振興機構(ジェトロ)盛岡貿易情報センター  
 【後援】いわて海外展開支援コンソーシアム  
 【協力】(株)岩手銀行、(株)北日本銀行、(株)東北銀行、三井住友海上火災保険(株)

「大連展示商談会」が10月18日(金)～19日(土)の2日間、中国遼寧省大連市の大連世界博覧広場(大連市星海広場)で開催されました。

この商談会は、中国国際貿易促進委員会、大連市人民政府が主催する「第5回大連中日貿易投資展示商談会」に企業ブースを設置したもので、日系企業や各種団体など出展総数154社のうち、本県からは4社(食品3社、設備機械1社)が出展しました。

開催期間中、中国企業や取引関係者など2日間で約2万2千人の来場者があり、本県からの参加企業は、自社商品の販売促進と中国企業等との新規取引を目指し、大連経済事務所スタッフ等の通訳のもと、商品試食・試飲やパネル展示で来場者にアピールしました。

また、岩手県の観光ブースでは、本県への観光誘客のための観光PRビデオ放映やパンフレット、ポスター、パネル展示により観光PRを行いました。

商談会場内では、現地マスコミ関係者も多く詰めかけ、出展企業や来場者にインタビューを行う様子も見られ、関心の高さがうかがえました。

いわて産業振興センターでは、今後とも大連経済事務所の運営を通じて、県と連携しながら、中国企業との新規取引や販路拡大に向けた支援を行ってまいります。



開会式



岩手県ブース(全景)



企業ブース



現地バイヤーとの商談



岩手県観光PRブースへの取材

貴社の新商品を盛岡地区で試験販売し、手応えを確かめてみませんか？

# チャレンジ・ショップ 出店者募集のお知らせ

【主催】(公財)いわて産業振興センター

**期間** 平成25年6月～平成26年2月末

**場所** イオンモール盛岡南「いわて活菜横丁・結いの市」内  
チャレンジ・スペース

- 事業対象者**
- 中小企業支援法第2条に規定する中小企業者
  - 岩手県内において創業しようとする個人及びグループ
  - 農林水産物及びその加工品の生産者等
  - その他、いわて産業振興センターが適当と認める者

**使用可能面積および1事業者あたりの出店限度日数**

- 5m×3.2m、最長7日間(間が空いても可)まで調整します。

● 詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.joho-iwate.or.jp/challengeshop/>

消費者ニーズや商品評価の把握にご活用ください！



イオンモール盛岡南1F

お問い合わせ

- 空き日程の確認、申込：(一社)遠野ふるさと公社(チャレンジ・スペース管理者) ☎019-631-3137
- 制度についての確認：(公財)いわて産業振興センター産業支援グループ ☎019-631-3823

※この事業は「いわて希望ファンド」の助成を受けて実施しています

厚生労働省／岩手労働局からお知らせ

## 確認しましょう！最低賃金

岩手県最低賃金が、平成25年10月27日(日)より時間額653円から**665円**に改正されました。

- 岩手県内で働くパートタイマー・アルバイト等を含む全ての労働者に適用されます。
  - 賃金額が、時間額665円を下回っている場合は、発効日から時間額665円以上となるよう賃金額を改正する必要があります。
  - 岩手県最低賃金(地域別)のほか、産業別最低賃金が5つ設定されています。
- 詳細は、岩手労働局労働基準部賃金室(TEL:019-604-3008)へお問い合わせください。

### 《適用対象労働者》

全ての事業主は、その雇用する労働者(パート労働者・アルバイト等含む)に、最低賃金以上の賃金を支払わなければなりません。

### 《対象となる賃金》

最低賃金の対象となる賃金は、通常の労働時間、労働日に対して支払われた賃金に限られ、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、賞与は含まれません。

### 《岩手県最低賃金と特定(産業別)最低賃金》

最低賃金には、岩手県内全ての事業場に適用される「岩手県最低賃金」と特定の産業に適用される「特定(産業別)最低賃金」があります。

※中小企業事業主のみなさんに、計画的な最低賃金引き上げを支援する「業務改善助成金」制度があります(業務改善の経費の1/2、5万～100万円)。

必ずチェック最低賃金！  
使用者も、労働者も。

最低賃金制度 検索



お問い合わせ先 岩手県最低賃金総合相談支援センター(TEL:019-651-2373)

(公財)いわて産業振興センター広報誌  
**産業情報いわて**  
2013年11月10日(毎月10日発行)

■発行／公益財団法人 いわて産業振興センター  
〒020-0857 盛岡市北飯岡2丁目4-26(岩手県先端科学技術研究センター2F)  
TEL.019(631)3823  
E-mail joho@joho-iwate.or.jp URL <http://www.joho-iwate.or.jp/>  
■編集印刷／川嶋印刷株式会社



この冊子は地球に優しいベジタブルオイルインクを使用しています。